

普及活動情勢報告（令和5年8月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

1年間お疲れ様でした！ ～春野胡瓜部会反省会～



反省会の様子

7月31日、JA高知県春野営農経済センター大会議室で、春野胡瓜部会反省会が行われ、24名の生産者が参加しました。

普及所からは、作業の省力化に繋がる常温煙霧機に関する実証試験の結果について報告し、GAP（農作業事故防止、漏電火災対策）について説明しました。

生産者からは、常温煙霧機を導入する際の費用に対する補助などについて質問があり、導入に対する意欲が高まっているように感じました。

普及所は、来作もJAと協力してキュウリ産地の発展を目指して支援を行っていきます。

農薬とIPMについて学ぼう！ ～春野胡瓜部会勉強会～



勉強会の様子

7月31日、JA春野営農経済センター大会議室で、春野胡瓜部会の農薬勉強会が開催され、20名の生産者が参加しました。

当日は普及所から農薬の適正使用とIPM技術について説明しました。生産者からは、展着剤使用の際の薬剤を混ぜる順番や、天敵昆虫の利用法など様々な質問があり、JA営農指導員も交えて活発な意見交換がなされました。

普及所は、今後もJAと協力して、農薬の適正使用の指導やIPM技術の推進を行っていきます。

就農に向けて ～キュウリで長期研修開始～



キュウリ定植作業

8月1日から高知市春野町の研修生がキュウリの指導農業士の元で1年間の長期研修を開始しました。

普及所からは、定植時の段取り、品種、株間など先輩農家から聞き取った事は記録するよう指導しました。

初日は想定を超える暑さの中の研修となり、研修生は定植前後の土壌水分状態やこれからの栽培管理について質問するなど、積極的に研修に取り組んでいました。

普及所は、今後も関係機関と連携しながら作業日誌や研修内容等を小まめに確認しながら段階に応じた支援を行っていきます。

農福連携の推進 ～高知市農福連携研究会開催～



農福連携研究会の様子

8月4日、高知農業改良普及所で、農業及び福祉関係機関、福祉サービス事業者など23人が参加し、「高知市農福連携研究会」を開催しました。普及所は、事務局として、会の運営を行いました。

会では、昨年の活動結果の共有と、今年度の活動計画について検討し「マッチングした取り組み事例を整理して共有していく」「担当者レベルでの情報交換を行い、取り組み方を検討する」、「研究会のメンバーで研修会を行う」こととなりました。

普及所は、今後も研究会のメンバーである関係機関と連携して、農福連携の活動を推進していきます。